令和２年度（第13回）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉

広報・教育部門

謎解き☆きれいな水へのかえりみちバスツアー

郡山市上下水道局、日本大学工学部、郡山市ふれあい科学館

郡山市民の水道水源地「猪苗代湖」を中心とした水の循環を体感するバスツアーを開催

三者の連携

郡山市上下水道局　日本大学工学部　郡山市ふれあい科学館

バスツアーの１日

謎解き要素を盛り込んだｺｰｽﾌﾞｯｸをﾊﾞｽ出発時に配布、猪苗代湖(郡山市湖南町)へ移動、一日かけてｺｰｽﾌﾞｯｸの謎に挑戦

小学生が習う理科の内容を取り入れながら、水の不思議な性質や水循環について理解を深めた

郡山市ふれあい科学館がｼｬﾎﾞﾝ玉の科学などの水にまつわる楽しい実験を開催

日大工学部が実験する汚水処理技術「ﾛﾊｽの花壇」では、花壇に残った下水の汚れでなぜﾎﾞﾁｬが大きく育つのか、中野教授が説明

猪苗代湖の水質保全の取組みである湖南浄化ｾﾝﾀｰにおいて下水処理の仕組みを職員が説明

水道水源地「猪苗代湖」にある浜路取水塔を車窓から見て帰路についた

PRポイント！

- 郡山市上下水道局、日本大学工学部、郡山市ふれあい科学館の三者が連携することで体験する幅が広がり、相乗効果が生まれた。
- 水道水源地である「猪苗代湖（郡山市湖南町）」を訪れ、水の大切さと水の循環における下水道の役割を体感した。
- 小学生の集中力が途切れることなく一日を過ごせるように、謎解き要素を盛り込んだコースブックを配布した。

取組の効果！

- 子供たちが水の循環の一部である下水道の役割を学んだことはもちろんのこと、その親も初めて経験することが多く、楽しんでいただけた。また、親子でコースブックの謎を解くことで、学習内容を再確認し、下水道への理解をさらに深めることができた。
- 日本大学工学部や郡山市ふれあい科学館と連携して開催し、親子で多角的に「水」を体験することで、下水道の重要性を効果的に啓発することができた。

Key Person

郡山市上下水道局経営管理課　主任
生田晶教

謎解き（アイデア）をひねり出すところが苦労して、コースブックの完成が、ツアー日の前日だった。子供たちのためのバスツアーであったが、親である大人たちも下水道について考えるきっかけとなり、大人も楽しめるバスツアーとなった。実験や謎解きなど、手足や脳を動かすことで、体全身で下水道を体感することができた。

このバスツアーを継続することで、将来を担う子供たちにもっと下水道のことを知ってもらう機会を作り、水の循環や下水道の役割の重要性を理解していただき、持続可能な下水道事業を実現していきたいと考えています。